

城西大学水田記念図書館 図書館主催研究倫理講演会(著作権も含めて)  
「研究と論文と不正」

日時:2018年6月12日(火)16:50~18:20

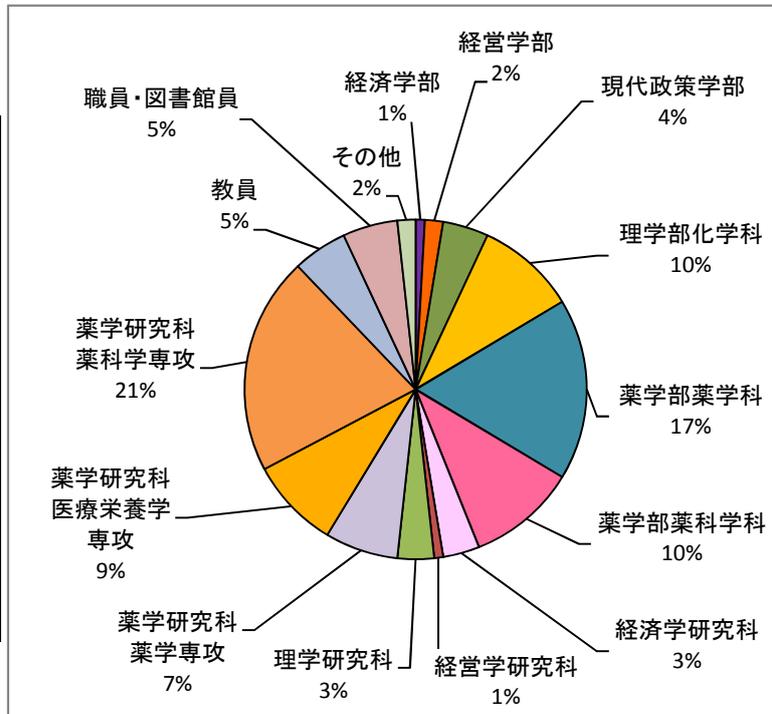
会場:18号館101教室

講師:時実象一先生(東京大学大学院情報学環DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座 高等客員研究員ほか)

参加者数:116名 アンケート回答者:111名(回収率=95.7%)

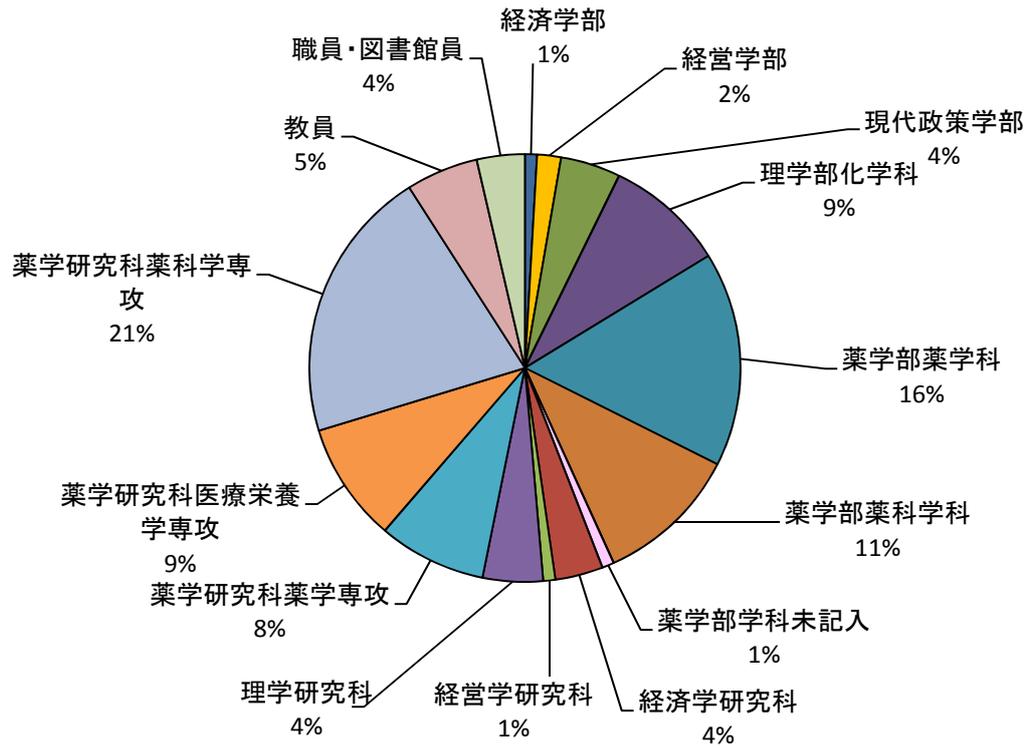
参加者数内訳

	単位(人)
経済学部	1
経営学部	2
現代政策学部	5
理学部化学科	11
薬学部薬学科	20
薬学部薬科学科	12
経済学研究科	4
経営学研究科	1
理学研究科	4
薬学研究科薬学専攻	8
薬学研究科医療栄養学専攻	10
薬学研究科薬科学専攻	24
教員	6
職員・図書館員	6
その他	2
合計	116



回答者数内訳

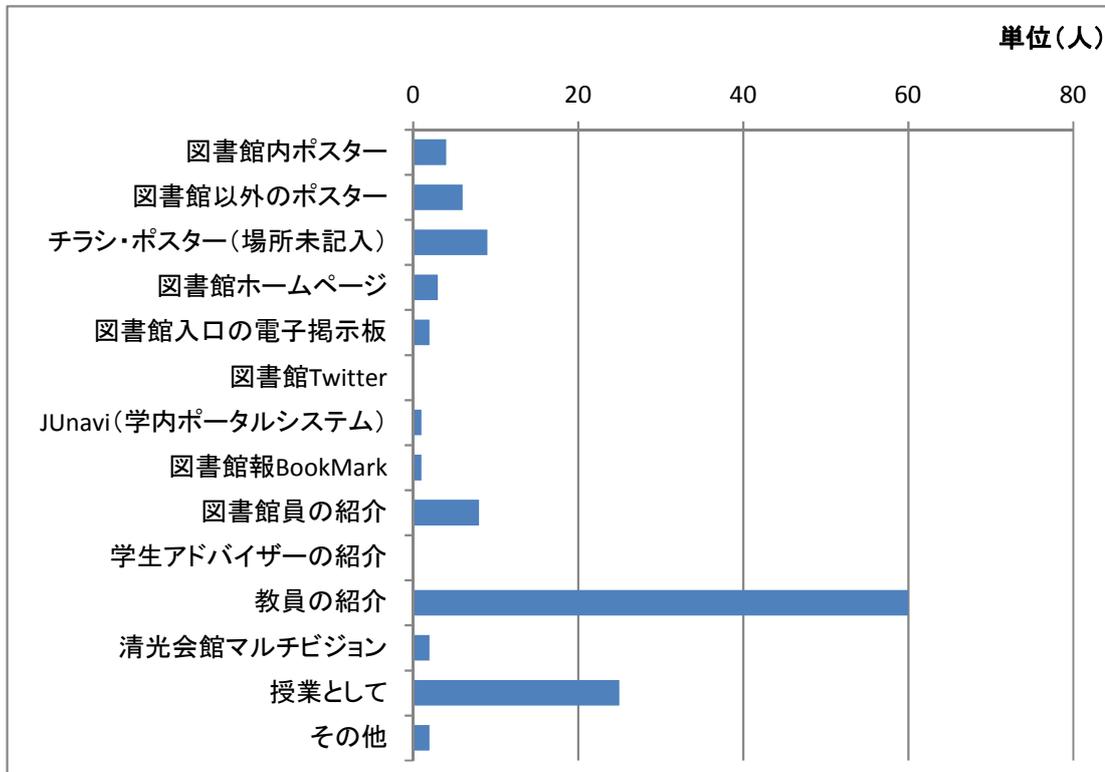
	単位(人)						合計
	1年	2年	3年	4年	5年	未記入	
経済学部	1						1
経営学部	1		1				2
現代政策学部			4	1			5
理学部化学科				10			10
薬学部薬学科	1			10	7		18
薬学部薬科学科			1	11			12
薬学部学科未記入						1	1
経済学研究科	2	2					4
経営学研究科	1						1
理学研究科	2	3					5
薬学研究科薬学専攻	7		1	1			9
薬学研究科医療栄養学専攻	10						10
薬学研究科薬科学専攻	23						23
教員	-	-	-	-	-	-	6
職員・図書館員	-	-	-	-	-	-	4
合計	48	5	7	33	7	1	111



1) 今回の講演会を何で知りましたか？(複数回答可)

	単位(人)
図書館内ポスター	4
図書館以外のポスター	6
チラシ・ポスター(場所未記入)	9
図書館ホームページ	3
図書館入口の電子掲示板	2
図書館Twitter	0
JUnavi(学内ポータルシステム)	1
図書館報BookMark	1
図書館員の紹介	8
学生アドバイザーの紹介	0
教員の紹介	60
清光会館マルチビジョン	2
授業として	25
その他	2

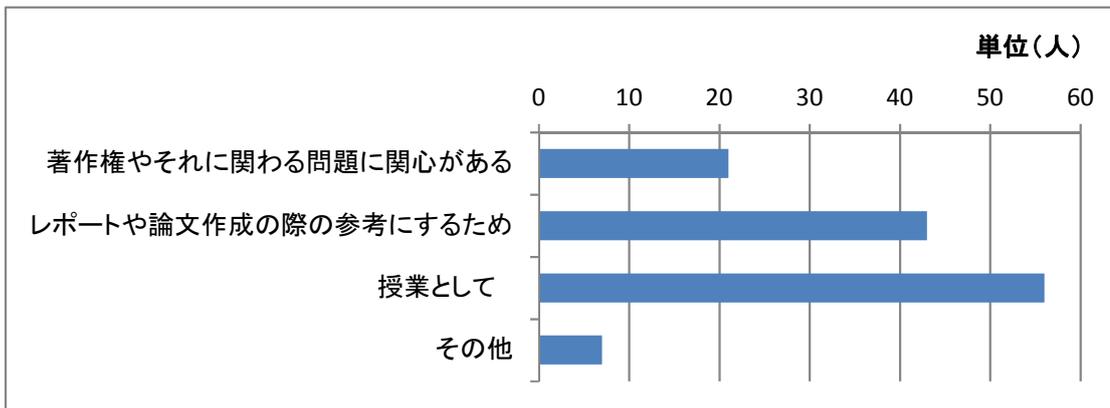
その他内訳	教員への紙媒体での連絡(1)
	教授会(1)



2) 今回の講演会に参加した理由は何ですか？(複数回答可)

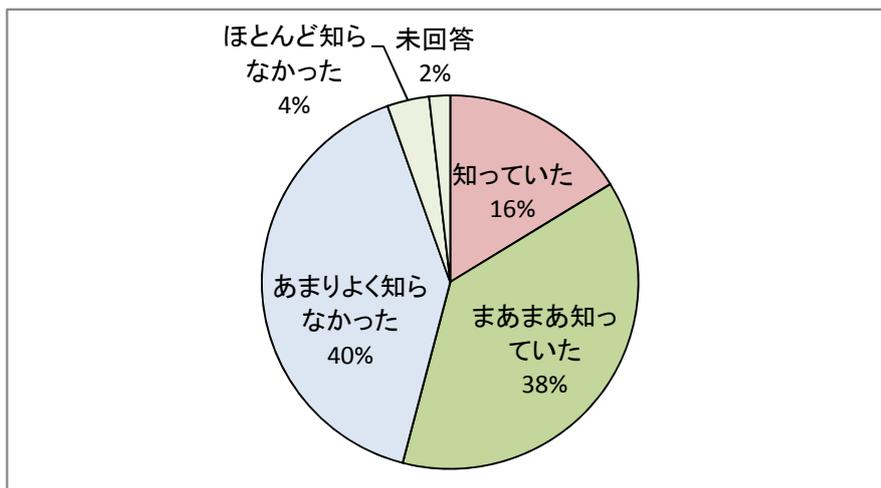
	単位(人)
著作権やそれに関わる問題に関心がある	21
レポートや論文作成の際の参考にするため	43
授業として	56
その他	7

その他内訳	教員に勧められた(5)
	業務で(1)
	院生に勧めていて自分も参加したいと思った(1)



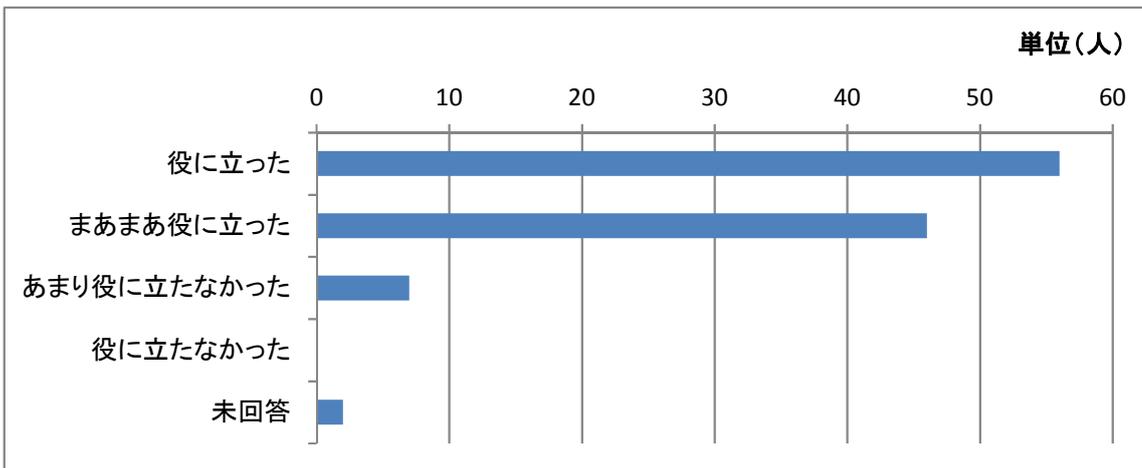
### 3) 今回の講演を聴く前に、著作権についてどの程度知っていましたか？

	単位(人)
知っていた	18
まあまあ知っていた	42
あまりよく知らなかった	45
ほとんど知らなかった	4
未回答	2
合計	111



### 4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

	単位(人)
役に立った	56
まあまあ役に立った	46
あまり役に立たなかった	7
役に立たなかった	0
未回答	2
合計	111



**理由**

**役に立った理由**

これから修士論文を書き始めるので今日の講座がすごく大事だと思う。  
過去にねつ造があった事件などを詳しく知れてよかった。  
学生への著作物に対する権利の認識を高めるのに役立った。  
著作権・引用について少し理解できたと思う。  
読売新聞や国会の議事録など具体的にたくさん紹介していただき興味深かった。

**まあまあ役に立った理由**

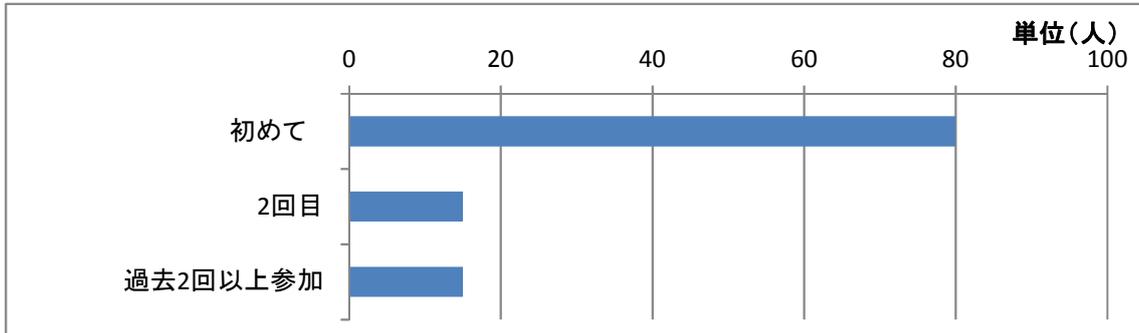
データの改ざん、論文のコピペはいけないことだと認識していたが、過去に多くの研究者がそのような問題を起こしていることに驚きました。  
具体的な例を交えてのお話だったので内容を理解しやすかった。  
実際にあった例を踏まえ、わかりやすい内容や言葉選びで論文不正やねつ造について理解できた。  
知っているものが多かったが、知識の再確認として悪くなかった。  
著作権やねつ造による例を知ることができたから。

**あまり役に立たなかった理由**

「何を」「どこまで」なら著作権等に引っかからないか細かくはわからなかった。  
さまざまなねつ造事件が紹介されて興味深かったが、プレゼンの流れがスムーズでなかったためか、理解するのに集中力を維持するのが難しかったから。  
どういときに不正になるのか詳しく知りたかったため。  
ほとんど知っていて、新しく得られたものが少なかったから。  
具体的にどうすれば不正とならないような書き方ができるのか知りたかった。  
著作権とは何かわからないままだった。

5) 過去に図書館主催著作権講演会に参加したことはありますか？(複数回答可)

	単位(人)
初めて	80
2回目	15
過去2回以上参加	15

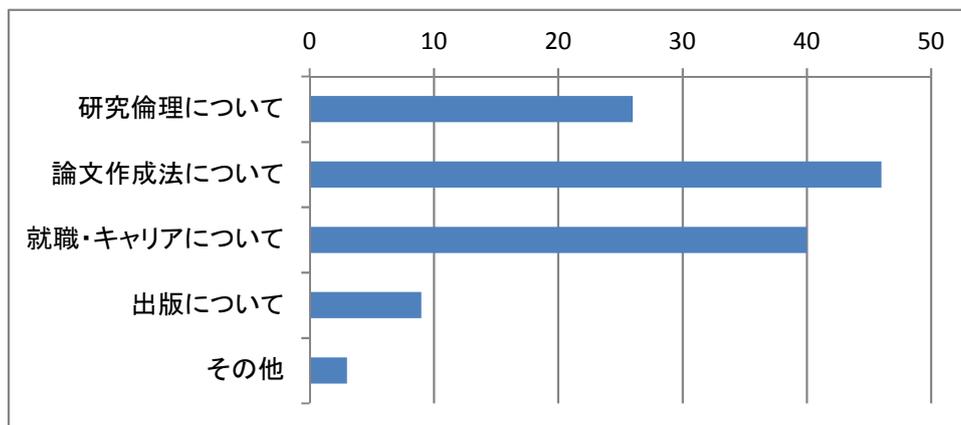


6) 今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？(複数回答可)

研究倫理について	26
論文作成法について	46
就職・キャリアについて	40
出版について	9
その他	3

その他内訳

JMP使用方法や統計学についての講演会などがありましたら参加してみたいです。  
ためになる知識やルールが知りたい  
参加型の講演会があれば良いと思う。



7) ご意見感想をお書きください

データの改ざんの具体例が今後会計士の発見のリスク(不正を発見できないリスク)を低くすることにもつながるのでとてもためになりました。

どういことをしたら不正になるのか詳しく知りたかった。事件などはあまり取り上げなくていいと思う。

とても参考になりました。こういった講演会にまた参加したいと思いました。

とても有意義な時間だった。

もう少し著作権に関する内容を詳しく話してもらいたかった。

意外にも歴史上の有名人たちが不正を行っていたことに驚きました。やはり昔の人たちも名声を得たいがために他の偉人のデータを利用してしまおうのでしょうか？自分的には昔の偉人は変わった研究者だと思っていたのですが、違う人が多いのでしょうか？

一般的な内容から学術的な話もあり、とても勉強になりました。

過去の事件を説明しながらどのようなものが不正なのかがわかりやすく勉強になりました。

具体的な事例をたくさん挙げてくださったのでわかりやすかった。その紹介が多かったので不正しないためにはどうすべきか？ 見破るためには何が必要か？ などをもっと聞きたかったです。でも大変勉強になりました。ありがとうございました。
研究に対し大切なポイントを要点をまとめて理解することができた。
研究不正は悪いことであるという認識があっても、不正だと思っていないが不正だったということもあるということを気に留めて、これからの研究・論文作成を進めていきたいと思いました。
研究倫理はすべての研究者として必ず守らなくてはいけないことである。実際にあった研究不正やそれらを防ぐためのツールなど、分かりやすく教えていただけて良かったと思う。
今回の講演会で論文の引用の度合いを知れてよかったです。
今後の論文作成にとっても参考になったと思います。
今後論文を書くときの参考になった。
最後のQ&Aの内容が面白かった。
山中さん、STAPに関してやその他ド忘れも多くまたもっと整理してまとめて話してほしかった。
自分のこれから論文を書くことがあると思うので、今日この話を聞いて良かったです。自分も気をつけたいです。
実験や研究についての講演会が多い印象なので就活やキャリア(インターン、就活の流れなど)についての講演会があると嬉しいです。
実際の事件などを例に挙げていてわかりやすく面白かった。
出展明記さえすれば大丈夫ということだが、それでよいのだろうか、ふと気になりました。
初めて講演会に参加しました。思っていた以上に初めて知ったことが多く、とても勉強になりました。
先生の本をちらりと読ませていただきましたが、我々の身近な話と結びつけながら非常に興味深かったです。また自分は理学部のため、盗作・不正といわれるSTAP細胞の話が身近ですが、いろいろな分野でもそういったものはあると、わかりやすく説明していただきました。ありがとうございました。
卒業研究をやっていくうえで気を付けていきたいと思いました。
卒業研究前にぜひ学生に受講させたい。しかし、もう少し話をまとめてきてほしい。
多少のねつ造はばれないうちという軽い気持ちで人の信用を左右させてしまうことを知りました。論文作成の参考になる事例もあり、とても分かりやすかったです。
知らないうちに自分で気づかぬうちに不正をしてしまう場合があるのでこのような部分で注意できたらと思う。
統計ソフトのJMPの使用法についての講演会を聞いてみたいです。
不正の事例だけでなく、それを避けるための正しい手法について、もう少し言及してほしいと思いました。(引用のやり方など)分野ごとに手法、作法は違うので難しいとは思いますが、学生も多く出席しているセミナーですので……。 (もしくは別のセミナーで扱うのでしょうか?)
不正をした学者を独自にタイプ別に分類していて面白かった。独特な表現というか、的を射ていた。「小心者」「のんき」「ペテン師」etc…歴史を織り交ぜてわかりやすく説明されていて面白かった。
不正をした人たちを例にとり、ねつ造や盗作についてわかりやすく知ることができた。うそをつく最後までそれを突き通さないといけなくなり、自分の首を絞めることになってしまうので注意しようと思いました。
普段著作権について学ぶ機会が少ないので今回の講義は非常に勉強になった。
役立つ内容で今後の研究に生かしていきたいです。
論文の撤回を行っている人の1位が日本人で驚きました。